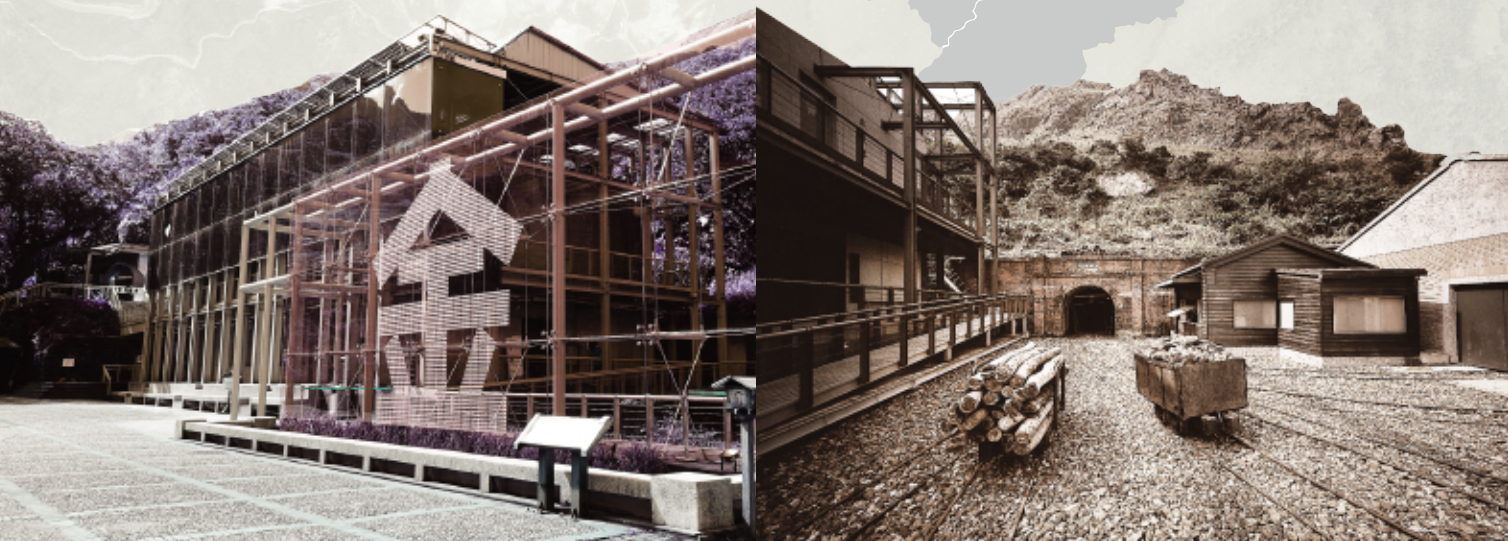
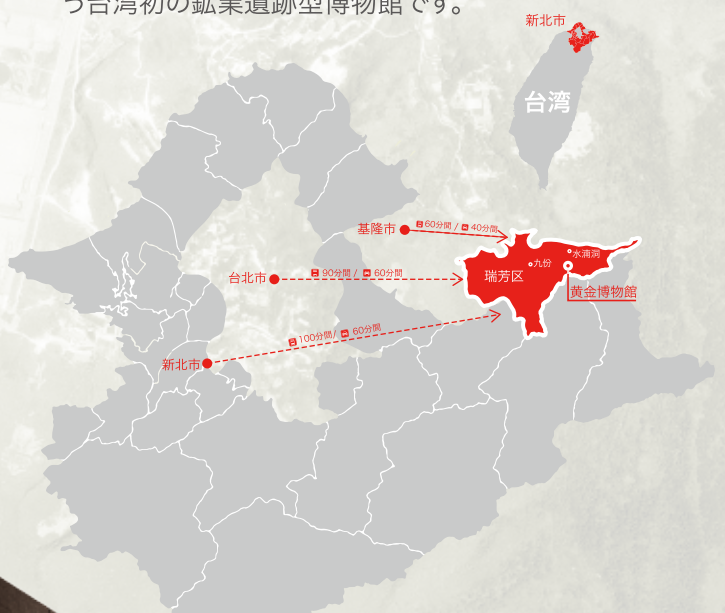
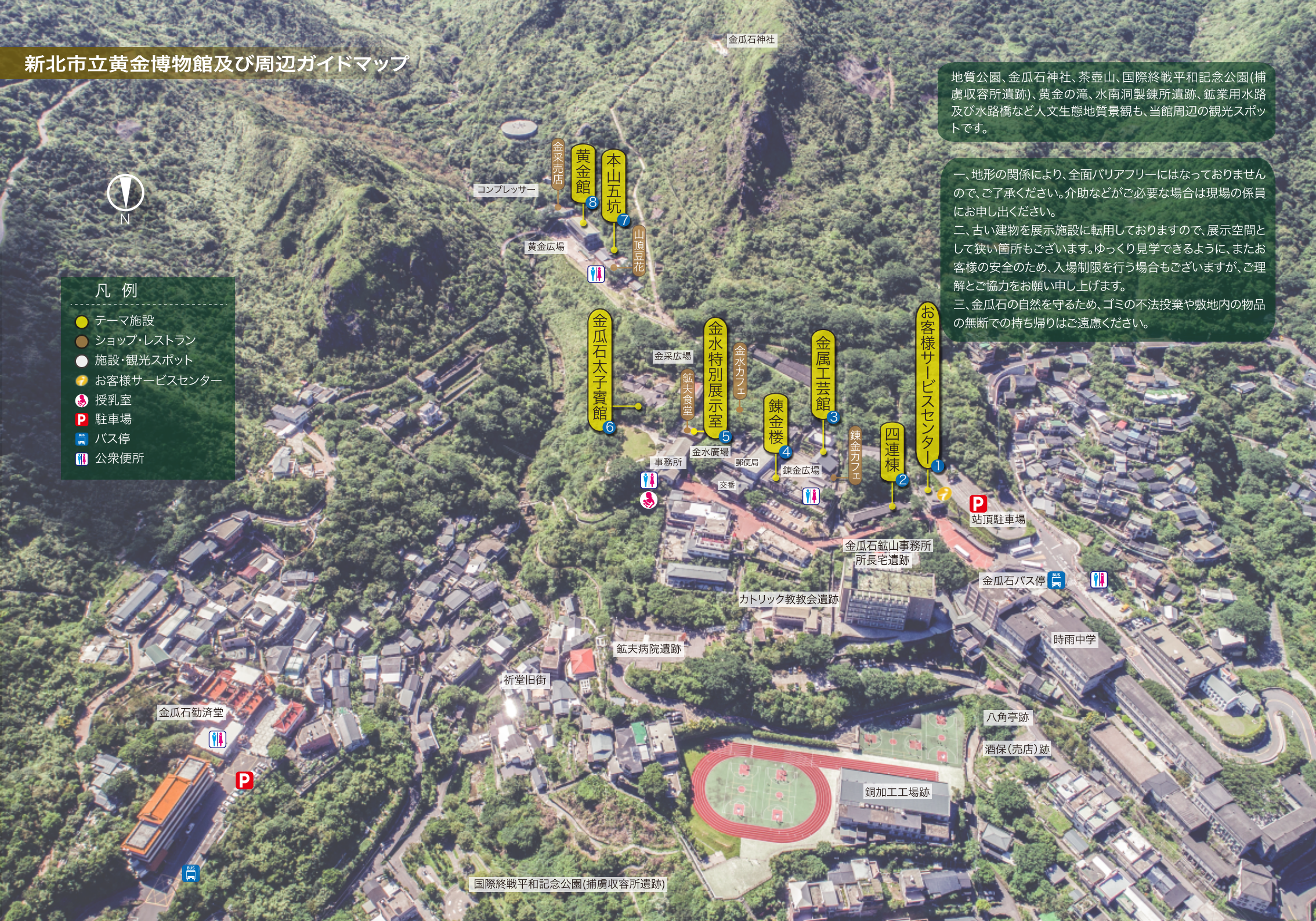


かつて金瓜石は、金や銅を多く産出し非常に栄えていましたが、鉱山が閉鎖された後、多くの鉱山遺跡や建物が残されました。2004年、地元の有志が奔走し、台北県(今の新北市)、台湾糖業、台湾電力の協力、合議を得て、鉱山時代の古い建物を「新北市黄金博物館」として再利用することとなりました。水金九(水湳洞・金瓜石・九份)の鉱業文化遺跡の保存と教育推進を行う台湾初の鉱業遺跡型博物館です。



- テーマ施設
- ショップ・レストラン
- 施設・観光スポット
- お客様サービスセンター
- 授乳室
- 駐車場
- バス停
- 公衆便所



地質公園、金瓜石神社、茶壺山、国際終戦平和記念公園(捕虜収容所遺跡)、黄金の滝、水南洞製錬所遺跡、鉱業用水路及び水路橋など人文生態地質景観も、当館周辺の観光スポットです。

一、地形の関係により、全面バリアフリーにはなっておりませんので、ご了承ください。介助などが必要な場合は現場の係員にお申し出ください。

二、古い建物を展示施設に転用しておりますので、展示空間として狭い箇所もございます。ゆっくり見学できるように、またお客様の安全のため、入場制限を行う場合もございますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

三、金瓜石の自然を守るため、ゴミの不法投棄や敷地内の物品の無断での持ち帰りはご遠慮ください。



## 交通アクセス

### 一、公共交通機関でお越しの方：

#### ◎ 鉄道

台北駅で東部幹線の宜蘭、花蓮方面行き列車に乗車→瑞芳駅にて下車→新北市政府警察局瑞芳分局脇にて基隆客運(バス)の1062系統、788系統、825系統、台北客運(バス)965系統に乗車→金瓜石(黄金博物館)にて下車。

#### ◎ バス

1.台北-金瓜石：台北MRT「忠孝復興」駅前にて、基隆客運(バス)1062系統に乗車→瑞芳、九分を経由し金瓜石(黄金博物館)にて下車。

2.基隆-金瓜石：鉄道基隆駅前の「仁祥診所」バス停にて、基隆客運(バス)788系統に乗車→瑞芳、九分を経由し金瓜石(黄金博物館)にて下車。

3.板橋-金瓜石：台北MRT「府中」駅前にて、台北客運(バス)965系統に乗車→瑞芳、九分を経由し金瓜石(黄金博物館)にて下車。

### 二、お車でお越しの方：

1.中山高速道路を北上、基隆方面へ向かい大華インターチェンジへ→62萬瑞快速道路<sup>（瑞）</sup>から瑞芳ランプへ→台2丁線<sup>（丁）</sup>を九份方面へ→右に曲がって明燈路へ<sup>（明）</sup>→九分を経て金瓜石方面へ→黄金博物館到着。

2.中山高速道路を北上、基隆方面へ向かい大華インターチェンジへ→62萬瑞快速道路<sup>（瑞）</sup>→瑞濱端から台2線へ<sup>（2）</sup>→78.5km地点(水滴洞)を右折し北34線へ<sup>（北34）</sup>→黄金博物館到着。

3.花蓮、宜蘭地区からのアクセス：宜蘭から台2線で<sup>（2）</sup>78.5kmの水滴洞で左折、北34線へ<sup>（北34）</sup>→黄金博物館到着。

  
公式サイト

  
EDM

22450 新北市瑞芳区金瓜石金光路8号  
TEL：+886 2-24962800  
FAX：+886 2-24962820  
http://www.gep.ntpc.gov.tw  
FB：www.facebook.com/goldmuseum

## ご利用案内

### 一、開館日：

- ◎ 開館時間：平日(月~金) 09:30~17:00。  
休日(土・日および祝日) 09:30~18:00。
- ◎休館日：毎月第一月曜日(祝日に当たる場合は開館)、旧暦の大晦日及び元日、翌日は休館日、政府の公表した天然災害による休日及びそれ以外に設定される休館日については別途通知します。

### 二、入館料：

- ◎ 80元(体験活動は有料)状況により有料になる場合については別途お知らせいたします。
- ◎ 受付時間：平日(月~金) 09:30~16:30。  
休日(土・日および祝日)09:30~17:30。

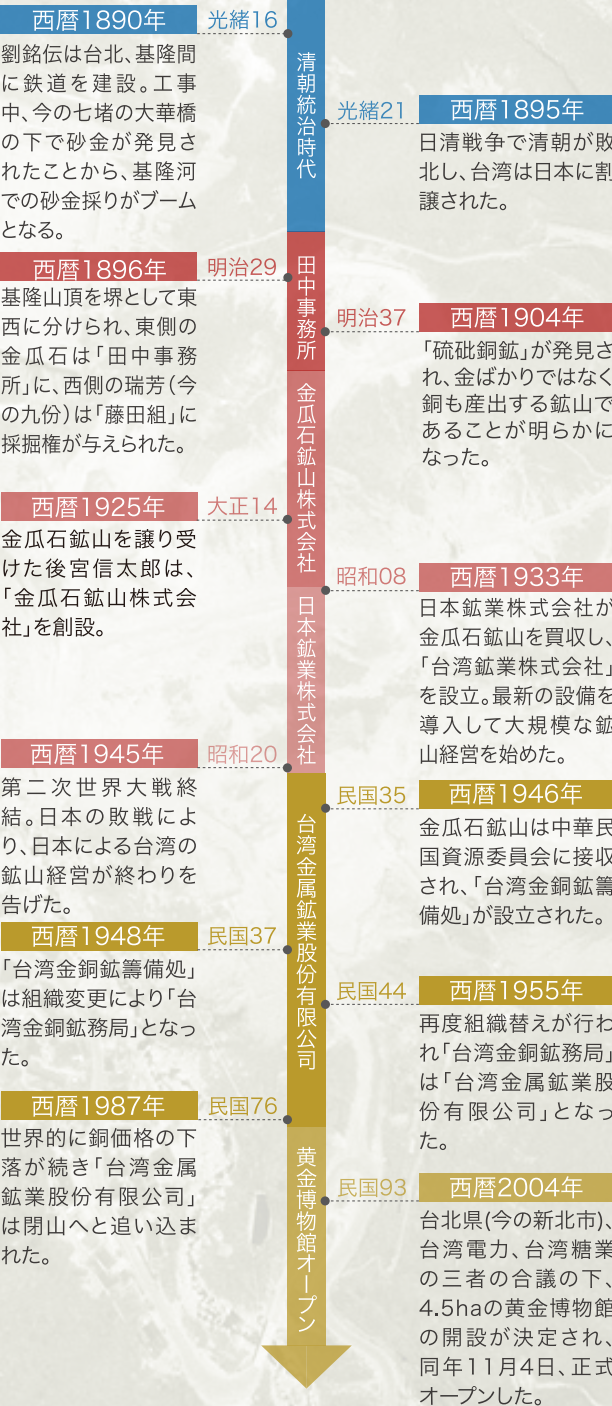
### 三、体験活動：

| 項目       | 参加費  | 活動内容                                                                                                                                           | 備考                                                  |
|----------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 本山五坑坑道体験 | 50元  | 受付：本山五坑<br>受付時間：平日09:30~16:30<br>休日09:30~17:30<br>見学時間：約15分間                                                                                   | 参加費には材料費、保険加入費用などが含まれます。                            |
| 砂金採り体験   | 100元 | 受付：黄金館の脇<br>集合場所：黄金館の脇<br>会場：黄金館三階<br>体験時間：約30~40分間<br>開催時間：10:30、11:30<br>13:30、14:30、15:30<br>参加人数：各回50人まで<br>(当日の開催時間及び回数については受付でお知らせいたします) | 参加費には材料費が含まれます。開催時間の15分間前までに切符をご購入のうえ集合場所にお集まりください。 |

### 四、ガイドサービス：

- ◎ 定時ガイドサービス(北京語のみ)：無料。出発時間の十分間前までにサービスセンターでお申し込みください。
- ◎ 集合場所：サービスセンター。
- ◎ 出発時間：【平日】10:00、14:00、15:00。  
【休日】10:00、11:00、14:00、15:00。
- ◎ 団体ガイドサービス(北京語のみ)：無料。20人以上の団体に限ります。  
見学予定日の45日間前から7日間前の間に、予約専用番号02-24962860へお電話でお申し込みください(受付時間：月曜~金曜の09:30~16:00)。
- ◎ 外国の方には音声ガイド機の貸出サービスあり。

## 主な出来事



## 施設

### ① お客様サービスセンター

以前、台湾汽車客運股份有限公司のバスの待合室だったところが、お客様サービスセンターになっています。見学案内資料が準備されているほか、赤ちゃんのだっこ紐や車椅子などのレンタルや、荷物の一時預かりなどを行っています。



### ② 四連棟

四連棟は1930年代に、日本鉱業株式会社が日本人社員と家族のために建てた社宅です。戦後、台湾金属鉱業会社の経営後も社宅として使用されました。2007年に全面改修を行い、常設展示館の一つとして鉱山の今昔の生活の懐かしい姿を展示しています。



### ③ 金属工芸館

金属工芸館は、台湾金属鉱業公司经营時には「金光路55号」と呼ばれ、倶楽部、図書室やレストランとして使われ、金瓜石に住む人々がここで憩い、食事を楽しんでいました。2009年に改修がなされ、金瓜石の人文環境や自然生態を展示する「環境館」となりました。2018年末に再度改装が行われ、伝統的な金の装飾品や現代金属工芸品のコレクションを展示する「金属工芸館」となりました。2階には金属工芸の工房があります。



### ④ 鍊金楼

日本統治時代の初期、鍊金楼周辺一帯は「金瓜石旅館」でした。ここで金を保管していた時期もあります。台湾金属鉱業会社の時代に、ここが鍊金工場だったことから「鍊金楼」と呼ばれるようになりました。一階には特別展示室と映像コーナーがあり、二階は常設展示室になっています。



### ⑤ 金水特別展示室

台湾金属鉱業会社の時代に電話交換室として使われていました。2階は博物館の特別展示室として不定期にテーマ展示が行われています。1階の礦工(鉱夫)食堂では、鉱山の特色あふれるメニューが楽しめます。



### ⑥ 金瓜石太子賓館

金瓜石太子賓館は、一説によると、1922(大正11)年に当時の皇太子(後の昭和天皇)が金瓜石の鉱山を視察に訪れる予定があったことから、鉱業を営んでいた田中長兵衛により迎賓館として建てられたと伝えられています。しかし研究によると、この立派な純和風の建物は、鉱業会社が来賓を接待するために建てたものだとされています。2007年3月14日、「金瓜石太子賓館」は、正式に新北市市定古跡としての指定を受けました。



### ⑦ 本山五坑

昔、鉱夫たちが真っ暗な坑道で採掘していた様子が体験できます。70mの古い坑道に新たに110mの坑道を加えた合計180mの新旧の坑道が体験できるエリアです。各エリアには、実物同様の模型が置かれ、当時の採掘作業の様子がわかります。第五坑道準備室では、坑道に関する豆知識の紹介や、実際の作業を理解するための体験装置があり、実際の環境を体験することができます。



### ⑧ 黄金館

黄金館は、昔、台湾金属鉱業会社の採掘事務所だった建物です。構造を補強し、現在は常設展示を行う展示館として使用されています。新北市北部の水金九(水滴洞・金瓜石・九份)地区の鉱業に関する人文・文化や自然生態等が展示されており、ギネスブックに登録されたことがある220キロの大きな金塊も展示されています。

